



**あきた**  
札幌秋田県人会会報

創立124年  
第11号

発行 札幌秋田県人会  
広報委員会  
住所 札幌市中央区大通  
西1丁目  
桂和大通ビル50  
地下1F  
電話 011-211-4431



# 同郷の絆 より強く

## きょう札幌秋田県人会総会

### 晴れの知事表彰に古瀬氏

#### 会長表彰は山田氏ら3人

札幌秋田県人会（会長、中山善次郎鹿角会会長）の平成二十五年度総会と懇談会が五月三十一日 札幌市内のホテルで開かれる。総会には会員百五十人のほか、来賓として秋田県から堀井啓一 副知事、木村雅彦 総務課長、また道内各地の県人会会長らが出席し、先人の労苦を偲び、今後の発展を誓い合う。また、県人会活動に功績のあった古瀬 清氏（札幌由利会）が知事、山田 満一氏ら三人が会長の表彰を受ける。



「応援の皆さんの期待に応えたい」と鈴木さん

冒頭、会員の物故者とともに、東日本大震災による犠牲者への黙祈を捧げたあと、中山会長があいさつ。総会では新しい予算、事業盛りを披露し、盛り上げる。計画などを審議する。ふるさととの名所、味覚、イベントなどを紹介する大仙仙北のDVDが放映されるほか、懇親会の余興で、民謡歌手の葉月あかりさんがシニア世代の応援歌「人生花盛り」を披露し、盛り上げる。

県人会は、来年二〇一四年が百二十五周年の節目を迎える。記念の年を祝いさらなる飛躍を目指す一方、会員の高齢化・減少が進む中で活動の活性化などへの取り組みが課題となりそう。受賞者は次の通り。

**ソチ五輪へ闘志**  
北秋田市出身  
**鈴木 芙由子さん**  
バイアスロン候補

私が「バイアスロン」と出会ったきっかけは、スキーの楽しさを教えてくれた。

同郷の方々に声をかけ合って多数の参加を期待するところ。各郡市会の充実とともに



札幌秋田県人会の発展にご支援ご協力をお願い申し上げます。

（この原稿は予定稿です）  
さった方の娘さんからバイアスロンを薦められ楽しさを沢山山沢聞いていたからだと思います。  
「バイアスロン」という言葉さえ知らなかったのにその言葉を知ったときに、「楽しそうだな」と認識するようになりました。バイアスロンのトレーニングで「辛い」と感じたとき「それでも楽しい」と思えるようになったのは、「バイアスロン」の本当の楽しさが分かって来たからだと思えます。  
バイアスロンをはじめた頃、最初はただ楽しい・楽しいの日々でしたがトレーニングを続けていくうちに、楽しいだけではだめで、あたり前ですが結果を残さなければなりません。徐々に楽しく同じくらい責任を感じて来るようになりました。そんな頃に前回

札幌秋田県人会  
会長 中山善次郎  
札幌秋田県人会創立百二十四年の輝かしい年を迎えたことは、会員皆様のご協力によるものであることに厚くお礼申し上げます。  
私は終戦後、極寒の地シベリヤの馬小屋を改造した捕虜収容所で六年間、重労働を強いられ紙一重で生き延び、戦争のむなしさを引

きずつてようやく帰国したのです。  
昭和五十四年六月、札幌秋田県人会鹿角会の結成に参加したが、その当時、札幌の熱意には敬服せざるを得

## 県人会の一層の発展を

札幌秋田県人会は、夏と秋の二回、三越と丸井のデパートに四百名余の出席者で賑わったものでした。  
省りみますと明治二十二年から幾星霜にも亘る県人会の創立の歴史に偉大なる発掘の足跡を残してこられた故岩泉正次郎氏（元会長）の熱意には敬服せざるを得ない。これは会計年度に合わせて改めたものです。これを契機に会のさらなる発展と活性化をめざし努力して参りたいと思いま

（敬称略）  
古瀬 清  
▽会長表彰 山田満一  
（大館北秋）浅利芳男（鹿角）  
今野 正（由利）

(1ページから)

のバンクーバー五輪に出場するチャンスが頂きましたが、未熟すぎた私は全く結果を残すことが出来ませんでした。やっぱり実際に世界の舞台で結果を出すという事は簡単ではありません。自分の力不足をいやと云うほど認識させられました。バイアスロン競技は「クロスカントリー」と「射撃」の複合競技です。そのため天候・気象の影響を直接受けます。風は射撃に影響を及ぼし、雪質はスキークの走力に影響を及ぼします。しかしその影響を克服すると沢山の希望が見えてきます。

来年は再びオリンピック挑戦の年、何とかこれらを克服して結果を出したいと思っております。そのために春のトレーニングからシーズンに向けた行動を送りシーズンに入ったからオリンピックへの良い流れを作り自信を持って臨みたいと思っております。その自信を確固たるものにするには、事前のワールドカップで必ず十位以内に入

### 佐竹知事、無投票で再選

——「新エネ立県」など目指す——

佐竹敬久秋田県知事は三月に行われた県知事選で、無投票で再選された。知事は記者会見で無投票について、「勉強しろ」という県民

の思い。それを受けとめ張り」と抱負を述べた。知事は公約に「新エネルギー立県」などを挙げています。設立2年、人気の故郷の味あきた情報プラザ

「あきた情報プラザ」ってご存じ？。札幌市中央区大通西一丁目の桂和ビル50の地下一階にある。展示場では観光パンフの配布、県産品の紹介、販売などが喜ばれている。

▽きりたんぼ会 本場秋田の味きりたんぼ会が十一月にサッポロファクトリーで開かれる。昨年は百八十人が訪れる盛況ぶりお楽しみ抽選会もあった。

▽ラッキー一万人目 来浦野教授は好成绩の背景について「家で予習、復習はもちろん、早寝・早起きをし、毎日朝食をとるなど当たり前のことをしっかりとやること」と話している。

## 北海道の中の秋田を訪ねよう

北海道は幕末まで未開の大地だったが、明治になり多くの人が移民団として国策により本州から渡道し、開拓の轍を振るった。移住、開拓団の多くは農業移民だが、中には仙台、会津藩のように戊辰戦争で

移民もあつた。全国からの移民団は明治大正期に五十五万戸に達するとみられ、東北、北陸地方のウエイトが高い。秋田は四万五千戸で、東北では青森に次いで二番目。

秋田と北海道の関係は、古くは十四、五世紀に遼り、松山城主の安東氏は宗谷まで制海権を握ったといわ

れ、アイヌとの交易も行つた。松前付近に松山、上ノ国の地名が残っているのは、同時代の名残という。幕末になると、南下政策のロシアへの北方警備を命じられ、増毛に本陣を置き、その範囲は一時、オホーツクまで達した。しかし、栄養不足と厳寒により多くの藩士が命を落とし、墓が増

現在、道内には秋田県人会が二十カ所近くある。このうち札幌は明治二十二年の創立で、来二十五年に百二十五周年を迎える。道内各地に県人会があり独自の足跡に学ぶところは多い。

### 先人の活躍・思いを刻む

◎県人会のあるところ □秋田ゆかりの地



子どもは塾に行かずになせ

秋田県の民謡のルーツは陸上と海上のほか馬方衆の馬子達によって秋田へ運ばれそれが秋田の独特の節回しとなったものが多い。

秋田民謡の代表的な唄「秋田おぼこ」は当時「田

沢おぼこ」、「神代おぼこ」、「白岩おぼこ」の節があつたが、大正十一年東京で行われた大博覧会で唄った佐藤貞子の「白岩おぼこ」が元唄となっており、この大会で見事優勝しました。レコード会社がこの唄を「秋田おぼこ」として全国に売り出し当時六十万枚に達したといわれています。

また、佐藤貞子は手踊りの名手でもあり「秋田甚句」

# 秋田民謡 こうして広がった

横手平鹿会 佐藤 善治

「秋田音頭」を広めた方でもあります。貞子の父親は横笛の名手でもあり尚一層地元の人気者でありました。この他にも「黒澤三市」という人が秋田馬子唄や秀

昭和七年には本荘出身の嘉納初代が、また同八年には黒沢三市が「秋田馬方節」を唄ってますが、これは南部系の唄です。今では黒沢三市の馬方節、通称「あべや」が主流です。国道から入っ

## 秋田おぼこ

### 長者の山

### 川崎マサ子

### 黒沢三市が湯治客を慰労

### 舞台の袖に不明の兄が・・・

仙北歌舞団として一座を組み巡業したので多いに有名になりました。また大曲出身の宮大工「高橋市蔵」という人が岩手に宮大工の修行で南部の「ドドサイ節」にヒントを得て「円満蔵甚句」として後に浅野梅若師

野梅若さんに次ぐ大曲出身の高橋祐次郎さんが七八歳で亡くなりました。この方は終戦後東京に出稼ぎに行き浅草で一杯飲み屋で秋田民謡を聞き大工仕事の傍ら三味線の修行をされた方です。東南アジア等に出かけても演奏に情熱を注いだ方

でもありません。秋田音頭にも土崎と新屋の因縁の歌詞があるほど。第一回は港ポートセリオで行われて新屋の勝利。新屋竿燈会の竿燈や土崎の曳き山が対決を盛り上げた。札幌秋田ふるさと会の前会長は新屋で現会長は土崎出身と会長の綱引き状態になつている。(土崎港祭り&綱引きツアー参加者募集中！) (秋田ふるさと会)

でもありません。今回は紙面の関係で県南を中心に書きましたが秋田には五星会三味線の名手浅野梅若氏や鳥井森鈴、斉藤京子氏(平成二十四年日本民謡協会の会長に就任)を始め小野花子、二代目梅若

たところに現在の「わらび座」最終戦前に民謡歌舞団として東京から移住して来た劇団IIがありました。神代入り口付近には佐藤貞子の碑があると聞きましたが確認したことはありません。佐藤貞子や黒沢三市らが

がレコード吹き込みのときに「ドドンパ節」としたと云われております。今でも六郷近郊ではドドンパ踊りが盛んだと聞いております。またこの地方には「唄掛け」と言つて旧正月ごろ「荷方節を即興として行つ

な活動が盛んです。本荘高校も同じです。昔は仙北地方の娘さんの嫁入り道具に太鼓も持たせたとの話もあります。そのほかにも舟唄や居酒屋などもあります。最後の決戦で合格発表、その舞台の袖に出稼

仁鑛山が閉山したとき歌志内に移ってきたらしい。歌志内の名物に「なんこ鍋」というのがある。阿仁の名物にも「なんこ鍋」というのがあつて最近売り出している。南の方向(南向)は午(馬)。秋田の足跡を発見するとなぜか感激する。秋田ふるさと会文化部では「歌志内なまはげ祭り」募集する予定です。(秋田ふるさと会)

# スキノママ シニア世代の応援歌 CD「人生花ざかり」出す

秋田は由利本荘市出身で札幌のスキノでスナック

好評だ。「人生花ざかり」と題する歌は、札幌の歌手長坂純一さんの作詞作曲。年をとつても心に若さをもつことの大切さをうたった、いわばシニア世代を応援するもの。荒谷さんはスナックだけでなく、県人会と老人

福社施設などであつた。「年配の方も、この歌に元気つけられるよう精いっぱいいたします。世の中を明るくするパワーを発揮していただければ」と荒谷さんは話している。(編集委)

## 雄物川挟み

## 綱引き競う

## 旧炭鉱まちで なまはげ祭り

## 秋田ふるさと会

「葉月」を経営する荒谷幸子さん(芸名葉月あかり)が昨年三月、演歌「人生花ざかり」を歌いCDにした。民謡の全道大会で優勝するほどの自慢で常連客をはじめ県人会の会員らから

「人生花ざかり」と題する歌は、札幌の歌手長坂純一さんの作詞作曲。年をとつても心に若さをもつことの大切さをうたった、いわばシニア世代を応援するもの。荒谷さんはスナックだけでなく、県人会と老人

福社施設などであつた。「年配の方も、この歌に元気つけられるよう精いっぱいいたします。世の中を明るくするパワーを発揮していただければ」と荒谷さんは話している。(編集委)

秋田市土崎港では雪解け頃「サバグチ(綱のつなぎ目)出っしやがれ」と挑発して綱引きをしていたとお袋が話していた。その綱引き大会が五年前に復活した。相手は宿敵の新屋。秋田市の雄物川を挟んで南北に新屋と土崎がある。どちらも港町で気性の荒い地域で

揉め事が多かった。秋田音頭にも土崎と新屋の因縁の歌詞があるほど。第一回は港ポートセリオで行われて新屋の勝利。新屋竿燈会の竿燈や土崎の曳き山が対決を盛り上げた。札幌秋田ふるさと会の前会長は新屋で現会長は土崎出身と会長の綱引き状態になつている。(土崎港祭り&綱引きツアー参加者募集中！) (秋田ふるさと会)

歌志内市では二月の初旬に二十七年間続いている「なまはげ祭り」が行なわれた。私は仕事で行けなかつたので直前になまはげ保存会の人が練習して見るところを見学させてもらった。秋田の男鹿で何度見ても練習してきた本格的な舞を見て感激！歌志内は炭鉱の町。秋田は鉱山の県。阿

仁鑛山が閉山したとき歌志内に移ってきたらしい。歌志内の名物に「なんこ鍋」というのがある。阿仁の名物にも「なんこ鍋」というのがあつて最近売り出している。南の方向(南向)は午(馬)。秋田の足跡を発見するとなぜか感激する。秋田ふるさと会文化部では「歌志内なまはげ祭り」募集する予定です。(秋田ふるさと会)

エッセー

金澤 芳太郎

仙北会

秋田市で生れ小学五年まで育った街よりも、その後中学卒業までの四年余りた角館の方がわが故郷としての想いが強い。

「ふるさと」の歌にある

故郷角館町

「小魚釣りし彼の清流」松木内川でのカジカ釣りや、土堤の桜の下で三年間野球に熱中したためであろうか。九月、お祭りの山車の壮烈なぶつけ合い、無形文化財のお囃子と手踊りに

想い出深い

今はみちのくのくの小京都と称し武家屋敷が整備され垂れ桜と共に観光名所となっているが、江戸中期「解体新書」の解剖図を書いた秋

塚本 忠

鹿角会

芭蕉の「おくの細道」の冒頭に「月日は百代の過客にして行きかふ年も又旅人也」とある。日昏るるに未だ遠い旅にある今、桃源郷

学統、鹿角リゴ等々「菓」を改めて辿る時とおしく菓と縁のある仲間達が

未来創造への旅を続けたい

の言葉を想う。

国立公園十和田八幡平を郷土の味を楽しんだ。お互いに元気をもらい外に出て創造的将来に向い旅を続けたいものである。

話題

工藤 明博

能代山本会

能代にあるロケット実験場が脚光を浴びています。

一九六二（昭和三十）年十月から現在まで数々の地上燃焼実験を行い、宇宙開発に貢献してきました。

当時「日本の宇宙開発・ロケットの父」と言われた東京大学生産技術研究所の糸川英夫教授と西村節郎

は戦前、群馬県の航空機製造メーカーに勤め、戦闘機・爆撃機の開発で親交がありました。

糸川教授が中心として研究をすすめたペンシルロケットの上空への発射実験

刻を施すなど道民から親しまれそうだ。

島山会長に道スポーツ賞

旭川秋田県人会会長で連合会会長の島山五郎氏が昨年十二月、道スポーツ賞を受賞した。島山会長は長年、旭川、また北海道スケート連盟の役員を歴任し全道のスケート競技の普及発展に貢献した。

日本の宇宙技術を支える

能代ロケット実験場50周年

が計画されましたが、日本には広い砂漠がないほか海岸は米軍の管理下におかれ

日本海側の限られた場所しかなく漁業への影響も少ないことが求められました。

現在はJAXA（宇宙航空研究開発機構）が運営し

今では世界最高性能と謳われ

たM-V型エンジンの開発を終え、高性能・低コストの両立を目指す未来のエンジン「イブシロンロケット」

の試験を行っています。

二〇一四年にはイブシロンロケットでは「はやぶさ2」を打ち上げる予定です。

Vロケット5号機で打ち

表舞台の施設ではないの

ですが、地道な試験に支えられて今日の日本の宇宙技術を支え、そして地域の小中高生の見学、モデルロケットの打ち上げ等教育活動を通じて子供たちへの夢を与えていく貴重な施設です。

昨年インターンシップに参加した能代高校チームが「ロケット甲子園」で優勝しました。今年五月の全米大会に出場することになり

身近に同施設があることにより宇宙への高い関心が育まれる環境にあります。

一時間ほどで各施設を担当者が丁寧に案内してくれます。駅前でレンタル自転車を借り「風の松原」を抜けると同試験場です。

立百二十五周年の節目の年。記念誌発行に会員の皆さんの協力をお願いいたします。

編集後記

今回の会報は、故郷秋田の匂いを少しでも会員の方々に届けられたらという思いで作業を進めて来た。あきた情報プラザでの編集会議では委員が活発に意見を合した。私は七十歳にして一つのを共同で作る喜びを知り、故郷の間と強い連帯感を結ぶことが出来た。来年は県人会創

編集委員会

委員 佐々木育雄 会長 佐々木育雄 委員 粕加いひとときを過ごしませんか。秋田出身の方、また秋田ゆかりのある人ならどなたも結構。ぜひ、ご紹介下さい。（事務局）